

水質管理目標設定項目について

No.	項目	目標値	区分	説明	主な事業用途
1	アンチモン及びその化合物	0.02 mg/L以下	無機物	鉱山廃水、工場廃水などに由来します。	半導体材料
2	ウラン及びその化合物	0.002 " (暫定)		天然の花こう岩などに広く存在していますが、鉱山廃水などにも由来します。天然に存在する放射性物質の一つです。	核燃料
3	ニッケル及びその化合物	0.02 "		鉱山廃水、工場廃水などに由来します。水道管に腐食がある場合に検出されることがあります。	合金、メッキ
4	1,2-ジクロロエタン	0.004 "	一般有機物	化学工業原料、溶剤、塗料などに使用され、地下水汚染物質として知られています。	合成樹脂材料、有機溶剤
5	トルエン	0.4 "		プラスチックの添加剤(可塑剤)として使用され、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)として知られています。	染料、香料、火薬
6	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08 "		プラスチックの添加剤(可塑剤)として使用され、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)として知られています。	プラスチック添加剤
7	亜塩素酸	0.6 "	消毒副生成物	浄水過程において二酸化塩素を消毒剤として利用した場合に生じる消毒副生成物です。	漂白剤
8	二酸化塩素	0.6 "	消毒剤	浄水過程において水の消毒に使用されますが、いわき市水道局では二酸化塩素を使用しません。	紙パルプ漂白剤
9	ジクロロアセトニトリル	0.01 " (暫定)	消毒副生成物	原水中の一部の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成されます。	
10	抱水クロラール	0.02 " (暫定)			
11	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬	水道水で検出される可能性が高い農薬についてそれぞれ目標値が設定されています。各農薬の検出値を各自目標値で除した値を合計して算出します。	殺虫剤、除草剤、殺菌剤
12	残留塩素	1 mg/L以下	臭気	水道水中に消毒効果のある状態で残っている塩素のことです。消毒効果を保つと同時に味と臭気を損なわないために1mg/L以下となることを目標としています。	
13	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100 "	味	主に地質に由来します。硬度が低い(軟水)と癖のない味となり、高い(硬水)と好き嫌いがでます。硬度が高いと石鹸の泡立ちを悪くします。	
14	マンガン及びその化合物	0.01 "	着色	主に地質に由来します。また、鉱山廃水、工場廃水などにも由来します。消毒用の塩素で酸化されると黒く着色することがあります。	乾電池、ガラス
15	遊離炭酸	20 "	味	水中に含まれる炭酸ガスによって、適度に含まれると水にさわやかな感じを与えます。高すぎると刺激のある味になり、水道施設に対しても腐食を促進させます。	
16	1,1,1-トリクロロエタン	0.3 "	臭気	鉱山廃水、工場廃水などに由来します。高濃度になると不快な臭気の原因となります。	脱脂剤、エアゾール
17	メチルtertブチルエーテル	0.02 "		オクタン価向上剤などとしてガソリンに添加される化学物質です。	ガソリン添加剤
18	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3 "	味	水中に含まれる有機物量の指標です。有機物(全有機炭素(TOC)の量)との相関を確認するため、水質管理目標設定項目として設定されています。	
19	臭気強度(TON)	3 以下	臭気	水の臭いの強さを人の嗅覚により判断するものです。	
20	蒸発残留物	30~200 mg/L以下	味	水を蒸発させたときの残留物のことで、主な成分は、カルシウム、マグネシウム、ケイ酸などです。適度に含まれるとまろやかさを出すとされます。	
21	濁度	1 度以下	基礎的性状	水の濁りの程度を示します。	
22	pH値	7.5 程度		酸性、アルカリ性を示します。中性はpH7で、値が大きくなるほどアルカリ性が強くなり、小さくなるほど酸性が強くなります。	
23	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上極力0に近づける	腐食	水が金属を腐食させる程度を判定する指標で、値が小さいほど、水の腐食傾向が強くなります。	
24	従属栄養細菌	2,000 個/mL (暫定)	清浄な状態の指標	生育に有機物を必要とする細菌のことで、水道水の清浄度の指標です。少ないほど健全で清浄な状態であることを示します。	
25	1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	一般有機物	化学工業原料などに使用され、地下水汚染物質として知られています。	ポリビニリデン原料
26	アルミニウム及びその化合物	0.1 "	着色	工場廃水、浄水過程で用いられる凝集剤に由来して検出されることがあります。高濃度に含まれると白濁の原因となります。	アルマイト製品、電線
27	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタノ酸(PFOA)	0.00005 " (暫定)	毒性化学物質	環境中で分解されにくい物質です。現時点では、毒性的に明確な目標値の設定は困難ですが、諸外国・機関が行った評価の中で妥当と考えられるものを参考に目標値が暫定的に設定されています。	泡消火剤等

要検討項目について

No.	項目	目標値	区分	説明	主な事業用途
1	モリブデン及びその化合物	0.07 mg/L	無機物	鉱山廃水、工場廃水などに由来します。	合金、触媒
2	キシレン	0.4 "	一般有機物	化学工業原料、溶剤、塗料などに使用され、地下水汚染物質として知られています。	染料、香料、火薬